

平成28年5月31日

北海道新聞

㊦しずない農協特産のミニトマト
「太陽の瞳」



一方、新ひだか町内のミニトマトの2014年度の作付面積（道農林振興課調べ）は29畝で、後志管内仁木町の43畝に次いで全道2位だった。

このうち、昨年度の販売高が9億2900万円と過去最高を記録した、しずない農協では、本年度は31畝に新規就農者3組を加えた44戸が作付け。果肉が厚く糖度が高い品種「キャロル

10」を「太陽の瞳」のブランド名で販売しており、今季出荷は4月21日に始まった。5月までは道内5市場に、6月以降は東京や大阪の市場にも送られる。出荷はそれぞれ11月まで続くという。